

令和元年度 第2回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会議事録

1 開催日時 令和2年2月28日（金）午後1時30分～午後2時30分

2 開催場所 豊山町保健センター 2階 研修室

3 出席者

(1) 委員 8名

杉山医院	杉山 敬
空港歯科医院	久馬 厚
あい薬局	森 康哲
西名古屋医師会在宅医療サポートセンター	中西 健朗
ケアプランセンタービィンズ	池山 豊子
ヘルパーステーションしいの木	桶口 ひとみ
ゆたかナース	宇佐見 千春
豊山町社会福祉協議会	坪井 大志朗

(2) 事務局 2名

豊山町地域包括支援センター保健師主任	長友 妙子
豊山町地域包括支援センター保健師	大関 沙依

4 議題

(1) 地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について・・・資料1～6

5 議事内容（要点筆記）

【司会】

本日は、大変お忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。

定刻となりましたので、ただ今より「令和元年度第2回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会」を開催させていただきます。私は、本日の進行を務めます地域包括支援センターの大関です。よろしくお願いたします。

本日は新型コロナウイルス感染症対策として、委員の皆様にご手指消毒及びマスク着用をお願いしております。

議事録につきましては、発言時の個人名を伏せ、「要点筆記」にてホームページに掲載させていただきます。

ここで本日の資料の確認をさせていただきます。事前にお配りしました資料は、「資料1 地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について」、「資料2 地域包括ケアシステム構築に関するデータ分析」、「資料3 介護予防教室・通所型サービスの事業概要」、「資料4 重症化予防訪問指導（作業療法士・栄養士派遣）」、「資料5 I I J電子@連絡帳サービス次期バージョンアップについてのご説明」、「資料6 自立

支援を考える」です。また、本日お配りした資料は、「令和元年度 第2回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会次第」、「資料2（修正版） 地域包括ケアシステム構築に関するデータ分析」です。不足等はありませんか。

それでは本日は会長が不在であるため、豊山町地域包括ケアシステム推進協議会設置要綱第5条に基づき、会長代理である久馬委員に進行をお願いしたいと思います。

【会長代理】

本日の会議は地域包括ケアシステム推進に向けた協議の場として、委員の皆様方に活発な議論をしていただき、議事が円滑に進められますようご協力をお願い申し上げ、簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

【司会】

ありがとうございました。これ以降の会議の進行につきましては、会長代理の取り回しをお願いいたします。

【会長代理】

それでは、これより会議を始めます。まず、議事録署名委員の指名ですが、本日の会議の署名委員につきましては、桶口委員と宇佐見委員を指名いたしますので、よろしくをお願いいたします。

続きまして、次第2の議題（1）「地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について」に移ります。事務局からの説明を求めます。

【事務局】

議題（1）「地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について」について、資料1～6に基づき説明した。

【委員】

在宅医療サポートセンターにおける今年度の相談件数は37件で、その内、実際に在宅医療につなげたケースは11件でした。往診や訪問診療を導入した後も、普段の患者さんの状態を把握するという意味では、訪問看護の力を借りるのが効果的だと考えています。訪問看護を利用することにより、異変があった時には速やかに対応することが可能になります。実績報告から、ニーズが増えてきているのがわかります。

【事務局】

要支援認定を持つがん患者さんのように、病気の管理が必要な方もいらっしゃいます。実際に訪問看護を利用されているのはどのような方なのか、また、その需要などについてお聞かせいただけないでしょうか。

【委員】

訪問看護は、医療の視点を持って自立支援という観点からアプローチすることができます。その人の生活に寄り添って、医療行為と予防を両立させます。実績報告を見ると利用が増加しているようですが、今後さらに増えてもおかしくないと考えます。

【事務局】

町内に訪問看護事業所があるのは心強いです。今後さらに連携を図っていきたいと考えております。

医療と介護の連携については様々な課題があると思いますが、その点についてはい

かがでしょうか。

【委員】

近年、訪問看護や居宅療養管理指導などの利用が増えてきていることから、医療と介護の距離が近くなってきたような印象を受けています。何らかの疾患によって要介護度が重度化する方が多くいらっしゃるとしたら、要介護度を維持するために、予防的な医療が今後求められていくのではないかと考えます。

【事務局】

居宅療養管理指導についてはいかがでしょうか。

【委員】

居宅療養管理指導を行う立場からすると、ケアマネジャーとの連携が特に重要であると考えています。また、利用者の普段の状態を知っているという点では、訪問看護師は大きな存在であると認識しています。お互いに情報を発信し合う必要がありますので、その方法について検討することが今後必要であると考えます。

【事務局】

自立支援の目標設定などについて、現場の視点からはいかがでしょうか。

【委員】

訪問介護についてお話しすると、利用者自身の力でできないことがヘルパーの介入によってできるようになったり、今できていることが1年後も継続できていたりするように、利用者やケアマネジャーと話し合っただけで目標を立てています。ヘルパーは家政婦や家事代行と誤認されやすいため、まずは利用者自身に正しい認識を持っていただくことが重要です。例えば、ヘルパーが買い物に行く際、「ついでにゴミ出しもしてほしい」と利用者に頼まれることがあるのですが、それは本来の目的とは異なるため、自立支援を妨げることに繋がりがかねません。そのような場合、歩行状態や持ち物の量などを考慮した上で「ゴミ置き場まで一緒に行きましょう」などと提案し、できる限り本人の自立を促すようにしています。最終的にはヘルパーの力を借りなくとも自立した生活が送れるようになった方や、ヘルパーを必要とする頻度が減った方もいらっしゃいます。

【事務局】

今お話があった自立支援の考え方は、非常に重要な課題であると捉えています。今後も皆様からご意見をいただきながらデータ分析などを行っていきたいと考えます。

令和2年度から予定している重症化予防訪問指導について、ご意見がありましたらお聞かせください。

【委員】

家の中に入って普段の生活を把握した上で指導できるのは強みだと考えます。例えば、食事制限中の糖尿病患者で、実際には食べていても診察時には「食べていない」と話す患者さんがいらっしゃいます。訪問して指導した結果などについて、主治医と情報共有することを期待します。

【事務局】

実際に訪問してみると、対象者の生活に関する様々な気づきがあります。現場から

得た情報を主治医に情報提供し、連携して栄養指導などができるようにしていきたいと考えます。

【会長代理】

多くのご意見をありがとうございました。この議題につきましては以上で終了させていただきます。

続きまして、次第3「その他」に移ります。事務局からの説明を求めます。

【事務局】

地域包括ケアシステム推進協議会委員の任期は令和2年5月31日までとなっております。任期中に開催予定の会議は今回で終了となります。2年間ありがとうございました。また、次年度からの委員につきましては、継続して依頼させていただく場合もございますので、その際にはよろしくお願いいたします。

【会長代理】

本日予定しておりました議題につきましては、すべて終了しました。委員の方々に、何かご意見がありましたらお聞きしますが、いかがでしょうか。

ないようですので、これをもちまして令和元年度第2回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会を閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

【事務局】

久馬委員ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、長時間の審議をありがとうございました。

上記のとおり、令和2年2月28日（金）開催の豊山町地域包括ケアシステム推進協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長代理及び出席委員2名が署名する。

令和2年3月6日

会長代理 久馬 厚

署名委員 桶口 ひとみ

署名委員 宇佐見 千春